

防災 おやまだ

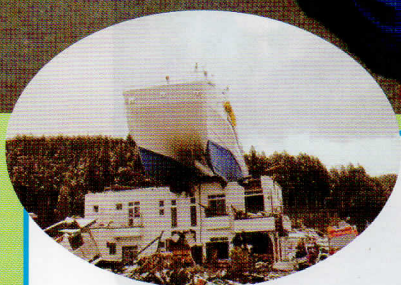
平成24年3月20日発行

第8号

小山田地区防災連絡協議会



11月13日 タウンウォッチング・放水訓練・救命救護訓練を組別に行う小山町



標語で年中防災啓発

小山田地区防災連絡協議会 会長 萩 伸元

昨年、3月11日の東日本大震災は、予想の針が振り切れるほどの大きな揺れと、その後続く大津波で未曾有の被害となりました。三陸沿岸では、多くの尊い人命も失われました。

小山田地区は、海岸から遠く津波の心配はありませんが、その分、地震対策を急ぎ住民の意志や啓発も強固なものにしなければなりません。

市では、今までの防災計画を見直して精査し、あらためて議論を尽くすとともに、防災意識の向上をはかる計画です。

私たちは、毎年「防災標語」に力を入れ、家族みんなで考え、小・中学校、一般で403点の応募から入選作9点をA2版のカレンダーにカラー印刷し全戸へ配付。家庭では、年中生きた啓発活動が続いています。

これからも明るく住みよい小山田にするため、温かいご支援と力強いご協力を切にお願いします。

(写真は東日本大震災で鉄筋2階建の屋上に乗り上げた双胴船)

私たちのまち

鹿間町 平成23年9月11日

避難誘導・安否確認の後、地震体験車『まもるくん』による震度体験、AEDを用いた救命救急講習、新しく購入した発電機及び浄水器の使用訓練を3ブースに分かれて実施。どのコーナーでも、自主防災隊員が指導に当たり、参加者は真剣に臨んでいた。最後に、災害時の避難所を想定して非常食の試食を行った。



西山町 平成23年9月18日

町内5か所において消防団の指導のもと、一斉に消火栓開閉・消防ホース接続及び放水訓練・消火器を用いた初期消火訓練を実施。

年に一度の訓練で、消防車が到着するまでの初期消火がいかに重要であるかを再認識し、防災意識を高める良い機会となった。



の防災訓練



内山町 平成23年9月25日

地震体験車『体験くん』で震度7の揺れを体感した参加者からは、「怖かったがとても良い経験になった。」との感想が聞かれた。他に消火器を用いた油火災の初期消火訓練を実施。また、『今、見直される地域防災』と題した出前講座では、今後予想される大地震に備え、地域防災の重要性を訴える講師に全員が真剣に聞き入った。



美里町 平成23年10月1日

町内にある防火水槽は29.6トンの貯水が可能で、ここから取水して行う放水訓練と合わせ、消火器を用いた初期消火訓練を実施した。参加者には、災害が発生しても決してパニックにならず、冷静に対処できるよう日頃からの備えを呼びかけた。



私たちのまち

山田町 平成23年10月9日

地震体験車での震度体験と初期消火訓練を実施。その後、一度に50食分の炊飯ができるアルファ米の炊き出し訓練も行い、132名の参加者が列に並んで、盛り付けたご飯を受け取り試食するなど避難所さながらの訓練を行った。また、会場では今年新たに作成した防災マニュアル、『山田町 みんなで防災』が紹介され12月に全戸配付された。



堂ヶ山町 平成23年11月20日

地震体験車『体験くん』での震度体験、初期消火訓練を順に実施。てんぷら火災の消火訓練では、全員落ち着いた対応ができたが、消火が確認された後には必ずガスの元栓を閉めるよう指導があった。最後に炊き出し班の準備したアルファ米とカンパンの試食を行った。親子での参加も多く、家族揃って防災意識を高める良い機会となった。



の防災訓練



和無田町 平成23年11月27日

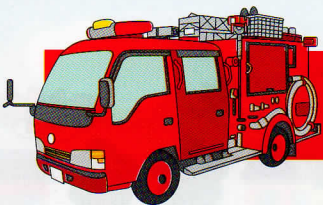
消火栓開閉・放水訓練、水消火器での初期消火訓練、地震体験車『そなえちゃん』による震度体験を実施。また、『東日本大震災の災害報告』をテーマに講演会も行われた。この日は『和無田町ふれあい2011』も同時開催され集まった約150名の参加者は、交流を深めながらあらためて防災の意識を高めた。



六名町 平成24年1月8日

厳しい寒さの中、将来災害から地域を守る戦力となる子どもたちもたくさん参加し、避難誘導・消火栓開閉・放水・初期消火訓練を実施。資機材の点検も兼ねて確認しながらの訓練となった。消防団より、六名町は道幅の狭い箇所があるため大型消防車の出動が制限されることがあり、消防車到着までの地域での自助・共助が最も重要であると指導があった。





小山田消防分団の活動

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、千年に一度といわれる未曾有の大災害で、地震・津波・原発事故による想定をはるかに超えた被害をもたらしました。

この震災で被災された方々並びに消防団活動中に犠牲になられた多くの団員に対し、心から哀悼の意を表すとともに、一日も早い復旧復興を願ってやみません。

小山田消防分団は、平成23年4月1日付けで、伊藤忠夫分団長が四日市市消防団副団長に昇格、後任の分団長には伊藤文夫氏、副分団長には矢田正喜氏が任命されました。

なお、引き続き『自分達の町は自分たちで守る』をコンセプトに活動しています。

1. 消防分団の活動

(1) 火災発生時の消火活動

小山田地区では、家屋火災が連続発生し、犠牲者の出る異常事態が続いていました。しかしながら、平成24年1月までの火災出動件数は2件あったものの、誤報と内部地区内の枯草火災であったため、実質0件と大変喜ばしい状況です。

今後も地区内全員の協力をもって、是非火災0件の記録を続けて行きたいものです。

(2) 防災訓練などの住民指導

平成23年度も、小山田地区全9町で防災訓練が実施され、小山田消防団は次の7地区で指導を行いました。その内容は、東日本大震災の発生および東海・東南海・南海地震を危惧して、地震体験車による体験訓練が増えました。

訓練は参加者全員が、見学ではなく体験していただくよう努力しています。万一災害が発生した時には、この体験が初期の対応に大変役立ってくるのです。

訓練を重ねる毎に、子どもからお年寄りまで幅広く参加者が増え、また繰り返し訓練を行うことで防災のレベル向上が心強く感じられる様になってきました。



9月18日	西山町	11月20日	堂ヶ山町
9月25日	内山町	11月27日	和無田町
10月9日	山田町	1月8日	六名町
11月13日	小山町		



(3) 火災予防・啓発活動

今年も冬場の火災シーズンには、テレビや新聞等で火災の逃げ遅れによる犠牲者の報道がされています。春・秋の火災予防週間には、法律で義務化された「住宅用火災警報器」の取り付けを重ねてお願いしてまいりました。

「住宅用火災警報器」は、家庭内の火災をいち早くキャッチし、逃げ遅れの犠牲者を減らす切り札ですので、まだ設置していない家庭では早急に対応をお願いします。

2. 四日市市消防操法競技大会で敢闘賞受賞

毎年7月に開催される四日市市消防分団対抗の消防操法競技大会は、今回で48回を迎えました。毎年6月から7月にかけての1か月間、梅雨時から真夏の悪条件の中、連夜・休日に操法課題の練習を行っています。選手の若返りとレベルの向上を図り、ようやく勝負のできる体制が整ってきて、今年は上位入賞を狙っていましたが、残念ながら僅差の敢闘賞受賞にとどまりました。

大会は中央緑地公園で行われます。来年は優勝を狙っていきますので、皆様の応援をよろしくお願いします。



3. 消防出初式

平成24年の消防出初式が1月8日（日）に挙行され、「消防車の分列行進」「式典」「アトラクション：はしご乗り演技・幼稚園児の踊り」「一斉放水」等が行われました。



三重県消防協会長表彰 表彰徽章

〃

〃

三重県消防協会北勢支会長表彰 表彰徽章

四日市市長感謝状 消防団退職者感謝状

古市 隆志

中村 哲也

矢田 博之

平尾 途浩

今村 昭満

（敬称略）



4. 東日本大震災の支援

小山田消防分団は、東日本大震災の復旧復興支援として次の取り組みを行いました。

- ① 三重県が支援をしている岩手県山田町でのボランティア活動に個人で参加。
- ② 被災地の産業復興のため、岩手県山田町特産品のくりっこ屋製菓店のお菓子を購入。
- ③ 分団研修旅行は、2泊3日の東北3県の団員家族旅行を挙行。風評被害で大打撃を受けている中、現地旅行関係業者には大いに感謝されました。
- ④ 義援金の拠出等

5. 消防団員の募集

小山田地区在住、または勤務している18歳以上で健康な方であれば入団できますので、男性・女性とも消防団員・機能別団員に応募して下さい。元気のある方の入団を待っています。

自分達の町は、自分達の力でしっかり守りましょう！

四日市市では 防災大学(防災リーダー養成講座)を 開催しています

この防災大学は約半年間、大学教授などによる最新防災情報の講義や災害時の危険箇所を検証するタウンウォッチング、図上訓練(DIG)、避難所運営を体験する避難所運営ゲーム(HUG)など7回の講座を行い、災害時の被害軽減や災害予防などにつながる研修となっています。興味のある方は小山田地区市民センターまたは危機管理室までお問い合わせください。



お問合せ

四日市市危機管理室

電話：059-354-8119/FAX：059-350-3022

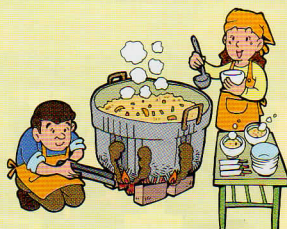
E-mail：kikikanri@city.yokkaichi.mie.jp

四日市市防災大学を卒業され、地区の防災リーダーとしてお世話いただくのは
次のみなさんです。(敬称略)

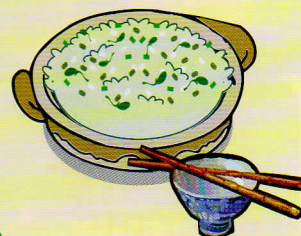


矢田 義秀 (山 田)
萩 伸元 (鹿 間)
北尾 喜子 (小 山)
丸市 弘和 (和無田)
井上 進 (和無田)

矢田 武男 (山 田)
清水 正 (山 田)
矢田 年長 (西 山)
古市 ひとみ (堂ヶ山)
矢田 俊巳 (内 山)



小山田小学校 “土鍋で炊飯”



～『炊き出し君』体験授業～

1月17日(火)、小山田小学校の4年生が、萬古焼きの土鍋を使った炊飯訓練を行いました。三重防災コーディネーターの指導により、8班に分かれ無洗米を土鍋で炊き試食しました。昨年に続き2回目の試みでしたが、どの班も真剣に取り組み、とても上手に炊くことができました。災害時、身の安全が確保されても食糧が配給されるまでには時間がかかります。その場にあるものを利用して、自分や家族、そして地域住民の命を守るための訓練でもあり、未来ある子どもたちに「生き抜く力」を養ってもらう良い機会となりました。谷村校長先生も、「大変素晴らしい取り組みで今後もできる限り続けていきたい」と話しておられました。

